

<3つの注意事項>

(1) 入力されたご自分のメールアドレスに自動返信メールが届けば、参加申し込みは成功しています。届かなければ、参加申し込みは不成功です。期限後の申し込みについては、こちらから、リアクションすることも難しく、自動返信メールが届いても、参加申し込みはされていない扱いになりますので、ご注意ください。

(2) 研修日が近くなりましたら、入力いただいたご自身のメールアドレス宛に、研修で用いる資料が送付されます。ご自分で印刷するか、ご自分の ZOOM で使うパソコンとは別のパソコンなどに映しながら研修を受けるか、各自の対応が必要になります。

(3) 研修日の前日までに、入力いただいたご自身のメールアドレス宛に、[ZOOM] ACP ファシリテーター養成研修会、参加のための 1) アドレスや、2) ID, パスワードが送付されます。1) または、2) の方法で、ご自身パソコンやスマホから、ZOOM ACP ファシリテーター養成研修会の会場にアクセスしてください。ただし、私どもは、ZOOM の利用に関する技術力は持ち合わせておりませんので、研修会前、研究会中も、技術的なサポートができないどころか、技術的なお問合せの返信すらできません。ご容赦下さい。

<5つの心つもり>

(1) ZOOM を用いて研修を行いますので、各自、ZOOM を下記の Web 環境からダウンロードしなければなりません。

<https://zoom.us/>

(2) ZOOM は、現在も、日本においてよく使用されておりますが、安全性を懸念する声があるのも事実です。参加される場合はそのことを了承の上ご参加いただく必要があります。下記サイトを参考までにご覧ください。

<https://cybersecurity-jp.com/news/36081>

(3) ZOOM を用いて研修を行うにあたり、主催者は、ZOOM 研修会の経験が不足しております。そのため、最悪、出だしの 30 分ほどで、中断になる可能性すらあります。そのような場合も含め、ご納得いただいた方のみ、ご参加いただけます。

(4) ZOOM を用いて研修を行いますので、各自、VDT (Visual Display Terminals) 障害の対応をしていただかなくてはなりません。あまりこの言葉を使うことは好きではありませんが、VDT 障害については、自己責任での参加となります。以下の VDT 症候群予防の厚労省ガイドラインに則った研修時間を設定します。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000539604.pdf>

(5) ZOOM を用いて研修を行ないますので、従来の ACP ファシリテーター養成研修会で用いた研修プログラム (下記 URL 内 ACP トレーニングパッケージタブ、地域 ACP タブ参照) を用いることができない事情があります。

<https://www.ncgg.go.jp/hospital/overview/organization/kanwa-care.html>

そのため、新規研修プログラム (ACPiece) を用います。新規研修プログラムの有効性も確

認されておりませんし、新規プログラムに精通した講師も少ないため、研修会の質も保証の限りではありません。また、少ない講師が新型コロナウイルスに感染した場合に限らず、不測の事態が生じた場合、突然に、研修会が中止になることがあります。

※ 研修会の開催直前、研修会の開催中に、急に、研修会の開催や、研修会の継続が難しくなった場合は、参加登録いただいたメール宛に、その旨お知らせいたします。

<1つのメッセージ>

(1) 参加申し込みのお知らせをしておきながら、少し変に思われるかもしれませんが、無理して参加しないでください。ものごとには優先順位があります。例えば、多くの医療介護職にとって、新型コロナウイルス感染症に対する対応が優先かもしれません。だから、無理に参加しないでください。一方、このような考えもあります。「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」という言葉がありますが、私どもは、いのちへの対応をしつつも、ACPに水やりをしたいと考えています。水やりは日常です。いのちがあれば、日常は毎日続きます。このような研修の機会など、これからいくらでもあります。だから、無理に参加しないでください。いま、水やりをできる環境にある方で、いま、水やりをしたい方は、遠慮なくご参加ください。